

サンドクラフト2017inみたね

今年も釜谷浜で「サンドクラフト2017inみたね」が開催されました！
三種町サンドクラフト実行委員会（三浦基英会長）主催により、7月29～30日の
2日間で約3万7千人が訪れ、にぎわいを見せました。



21回目となる今年も、彫刻家の保坂俊彦さん（東京都）が砂像のテーマや、レイアウトなどを全面的にプロデュースし、世界のおとぎ話をテーマとした砂像が制作されました。

中央にひとときわ高くそびえるメイン砂像を保坂さんが制作、その周りに鎮座する大型の特別砂像はプロ作家の松木由子さん（高知県）、王松冠さん（台湾）、陳怡靜さん（台湾）、余明さん（中国）と黒潮町砂像連盟の皆さん（高知県）が、さらに中型砂像は町内外の個人・団体が一致団結して制作し、おとぎの国を作り上げました。

初日の29日は、王さんによる公開砂像づくり、流しじゅんさいと梅そうめん流し、バナナボート体験やスケートボード体験など、たくさんイベントが行われました。

World fairy tale 「世界のおとぎ話」

特別砂像

メイン砂像



白雪姫 ユイミン 余明（中国）



西遊記 チェンイーチン 陳怡靜（台湾）



竹取物語 松木由子（高知県）



赤ずきん ワンソングワン 王松冠（台湾）



桃太郎 黒潮町砂像連盟（高知県）



シンデレラ 保坂俊彦（東京都）

今回のテーマは誰もが知っていて、色んなストーリーが楽しめる「世界のおとぎ話」をテーマにしました。

おとぎ話の親しみやすい内容の中に、華やかさと、別世界観を感じてもらいたいと考え、また、砂像を制作する作家の国などもイメージしました。



彫刻家 保坂俊彦さん

砂像テーマについて、保坂さんにインタビューしました